



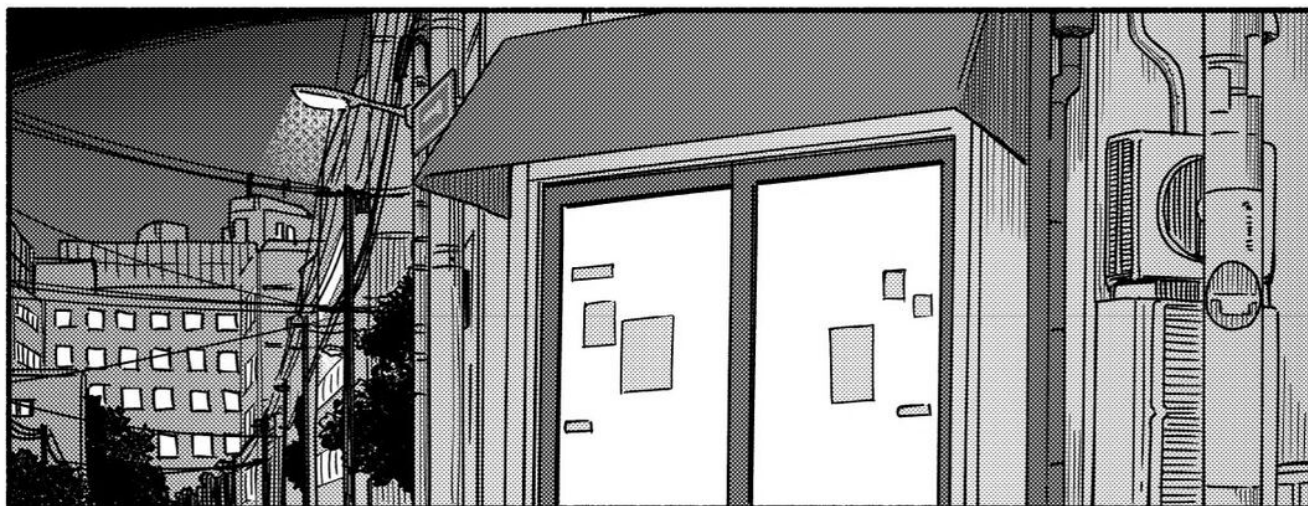
SHUN

じゃあ、

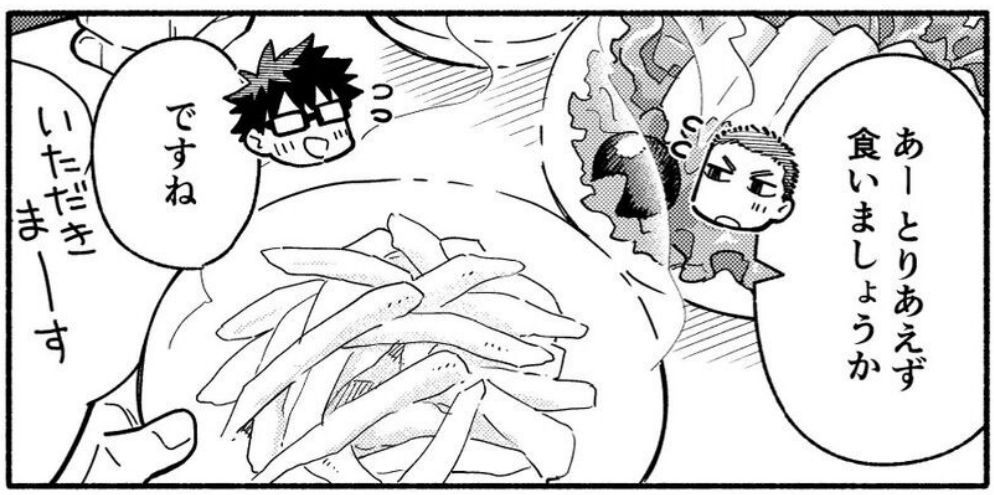
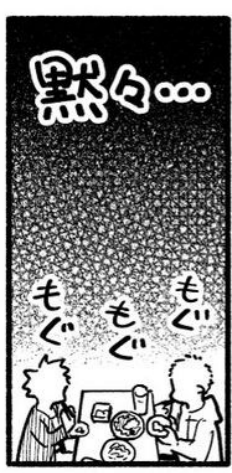
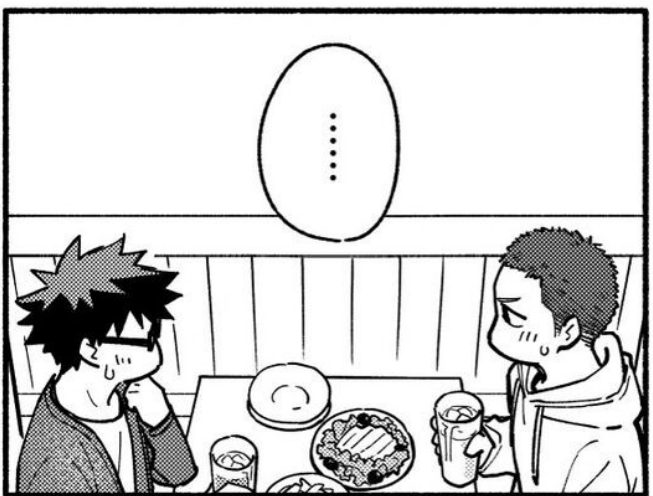
また。

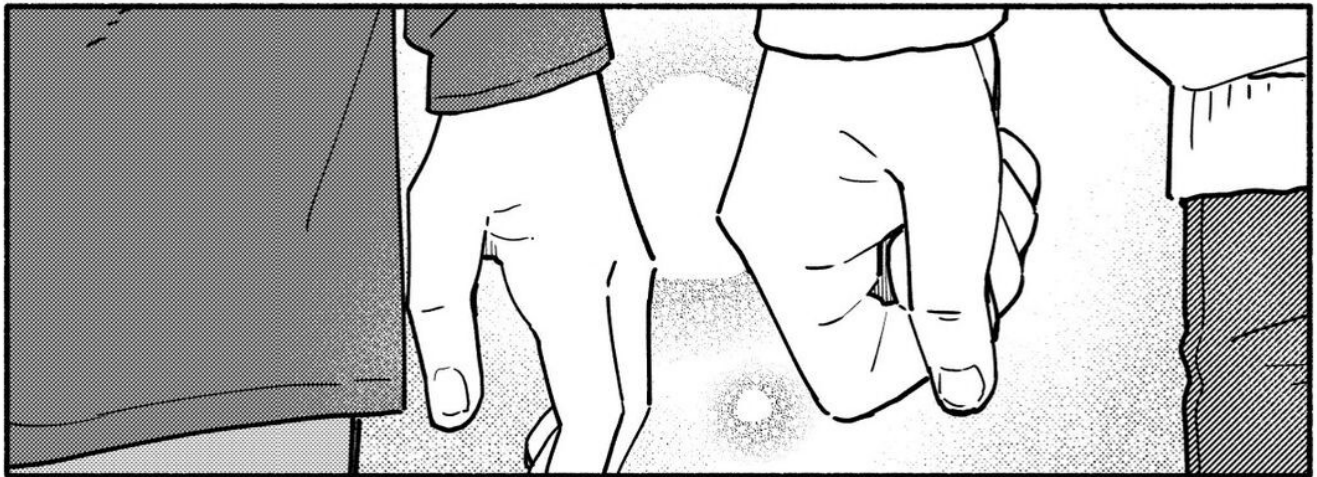
黒豆麦茶













あ の つ

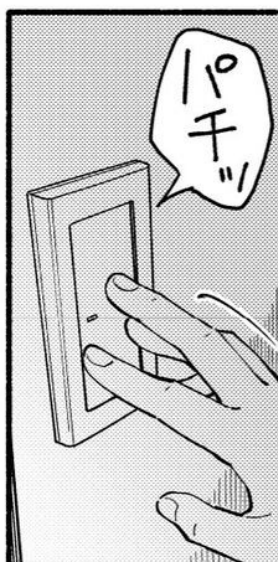
この後
ウチに来る…

…でいいん
ですよね?

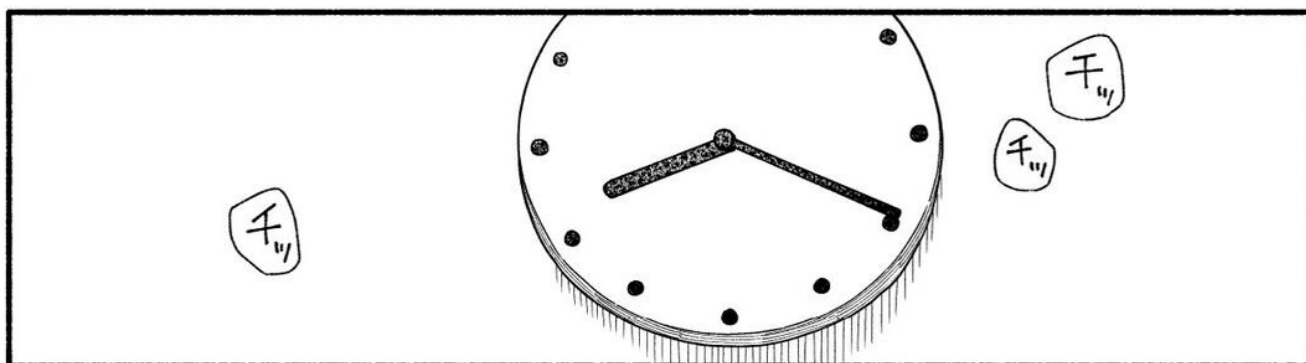


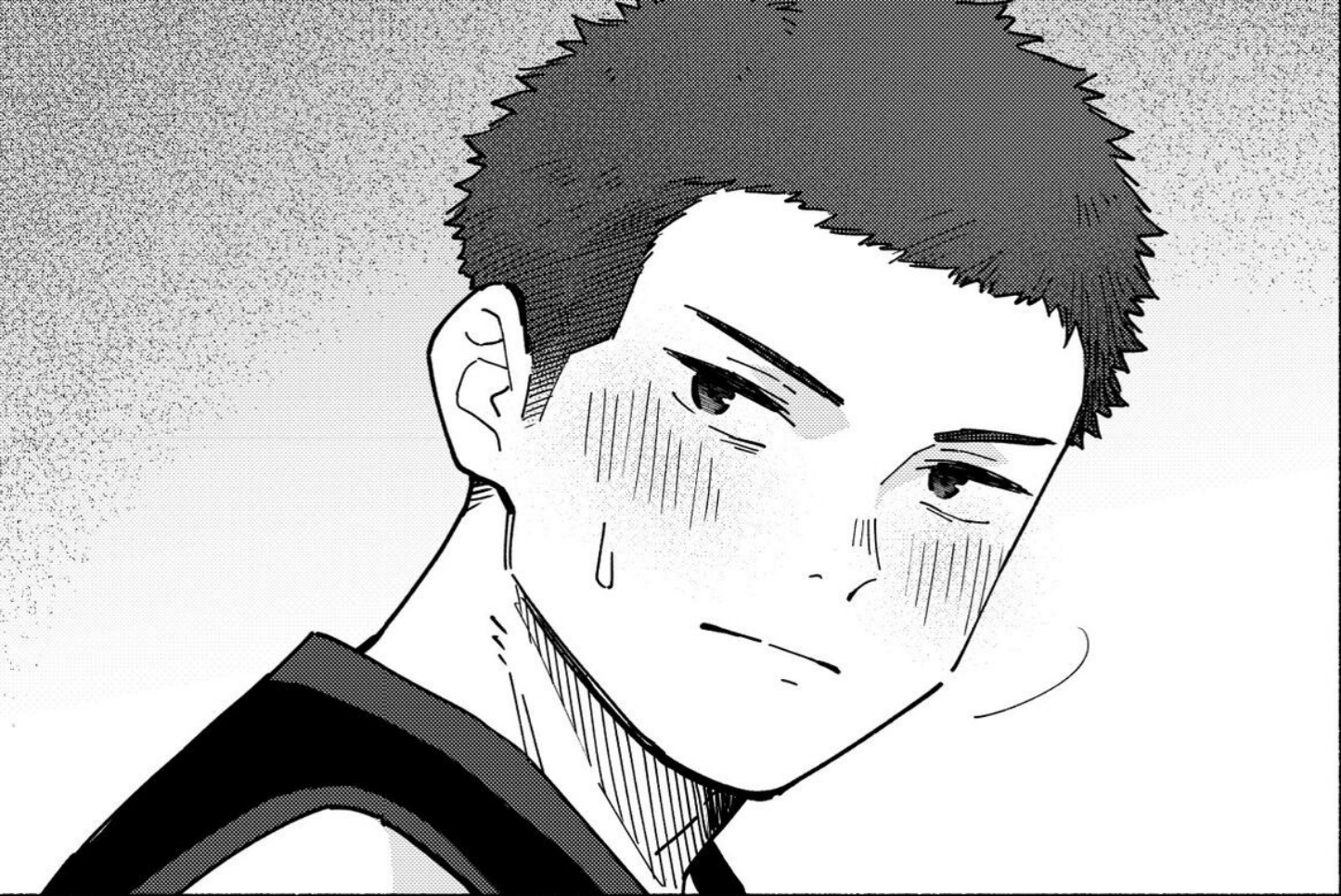
あつ…

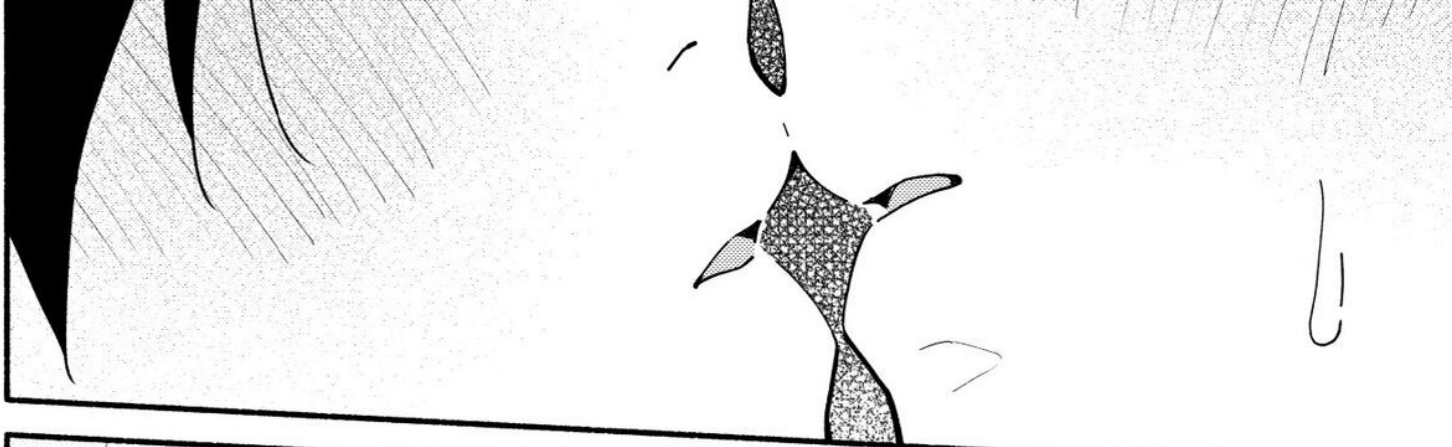
は…い…









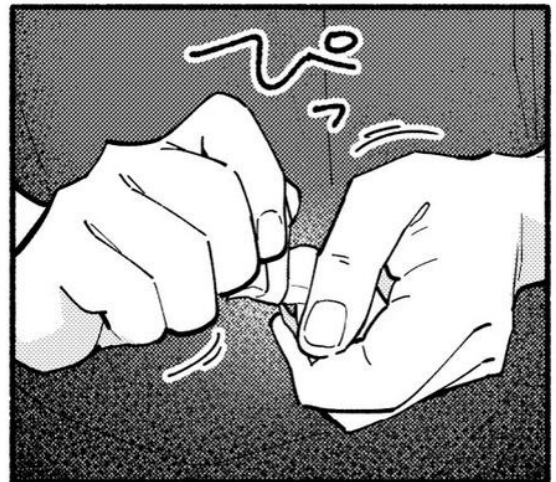












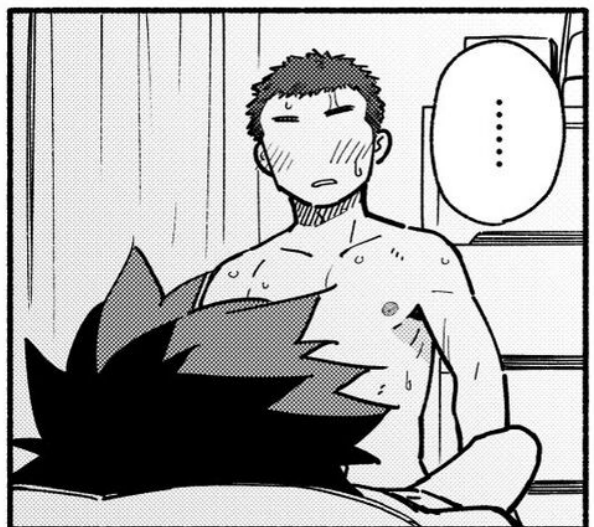
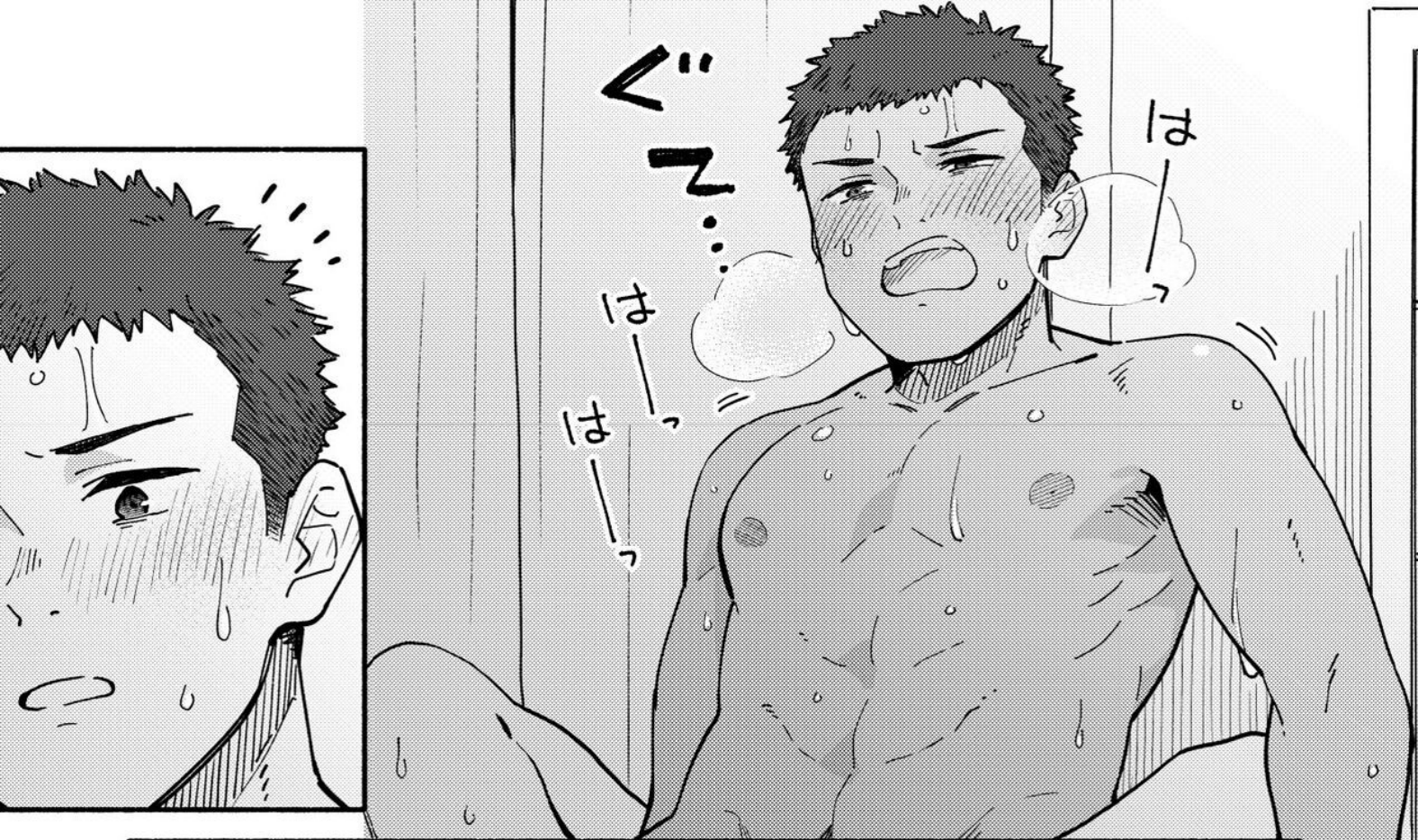






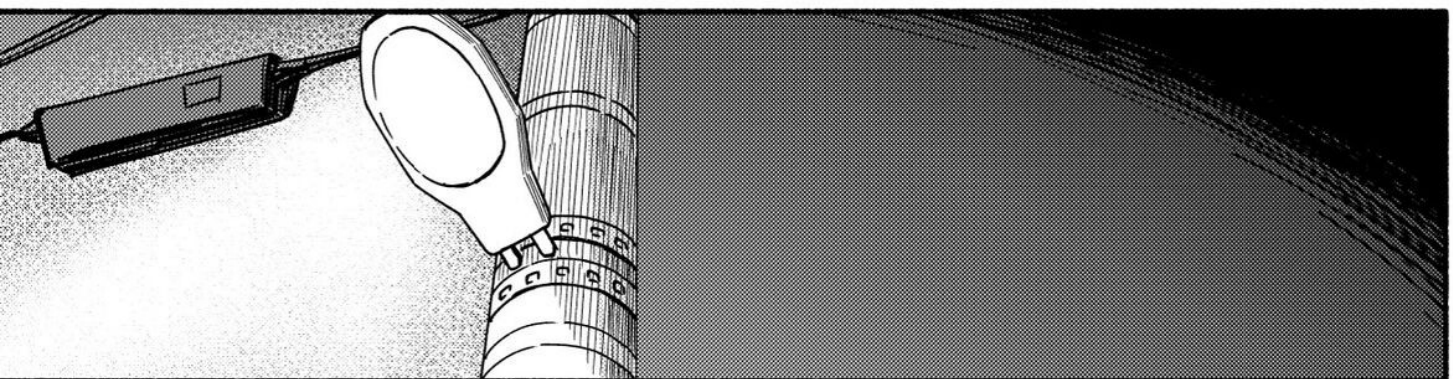


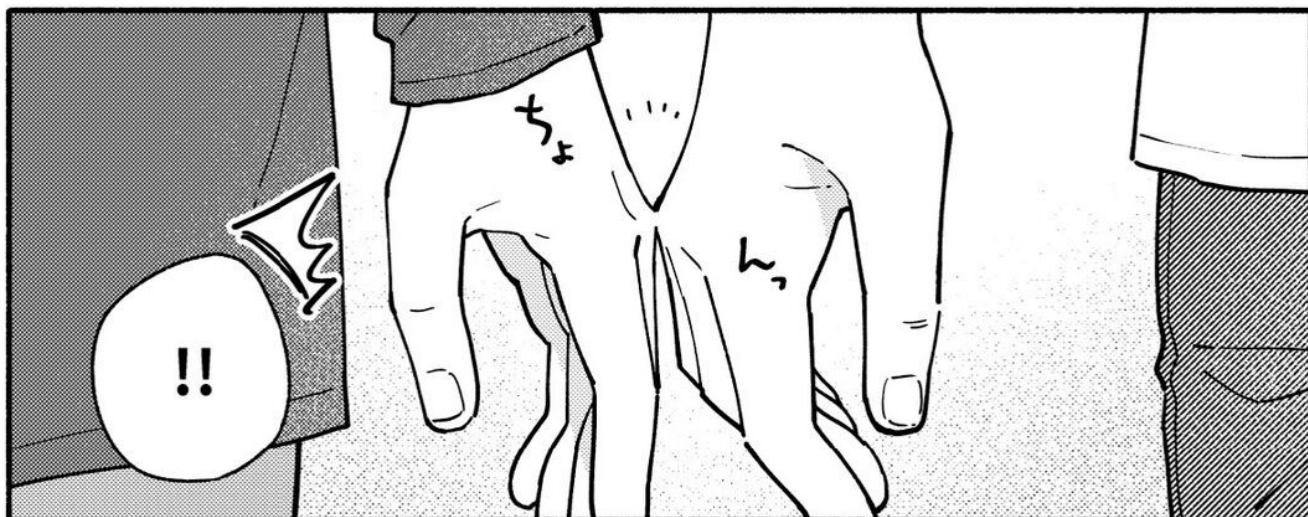


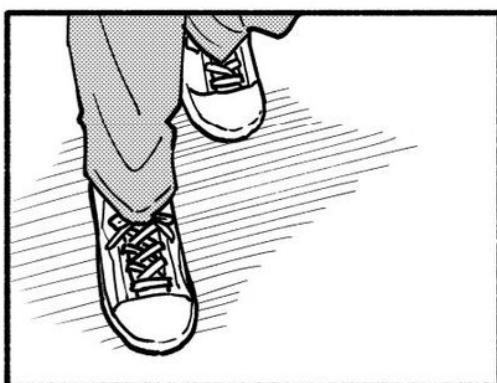








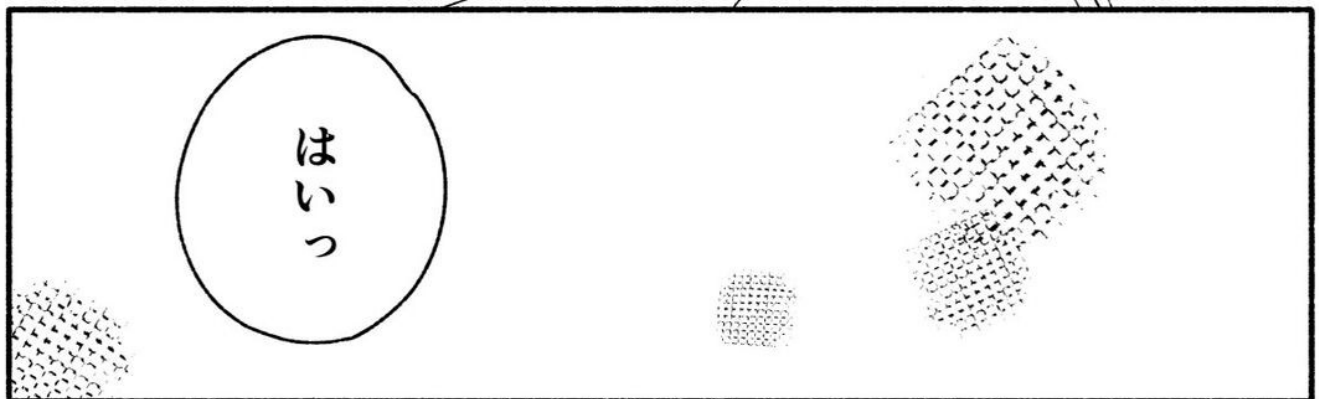
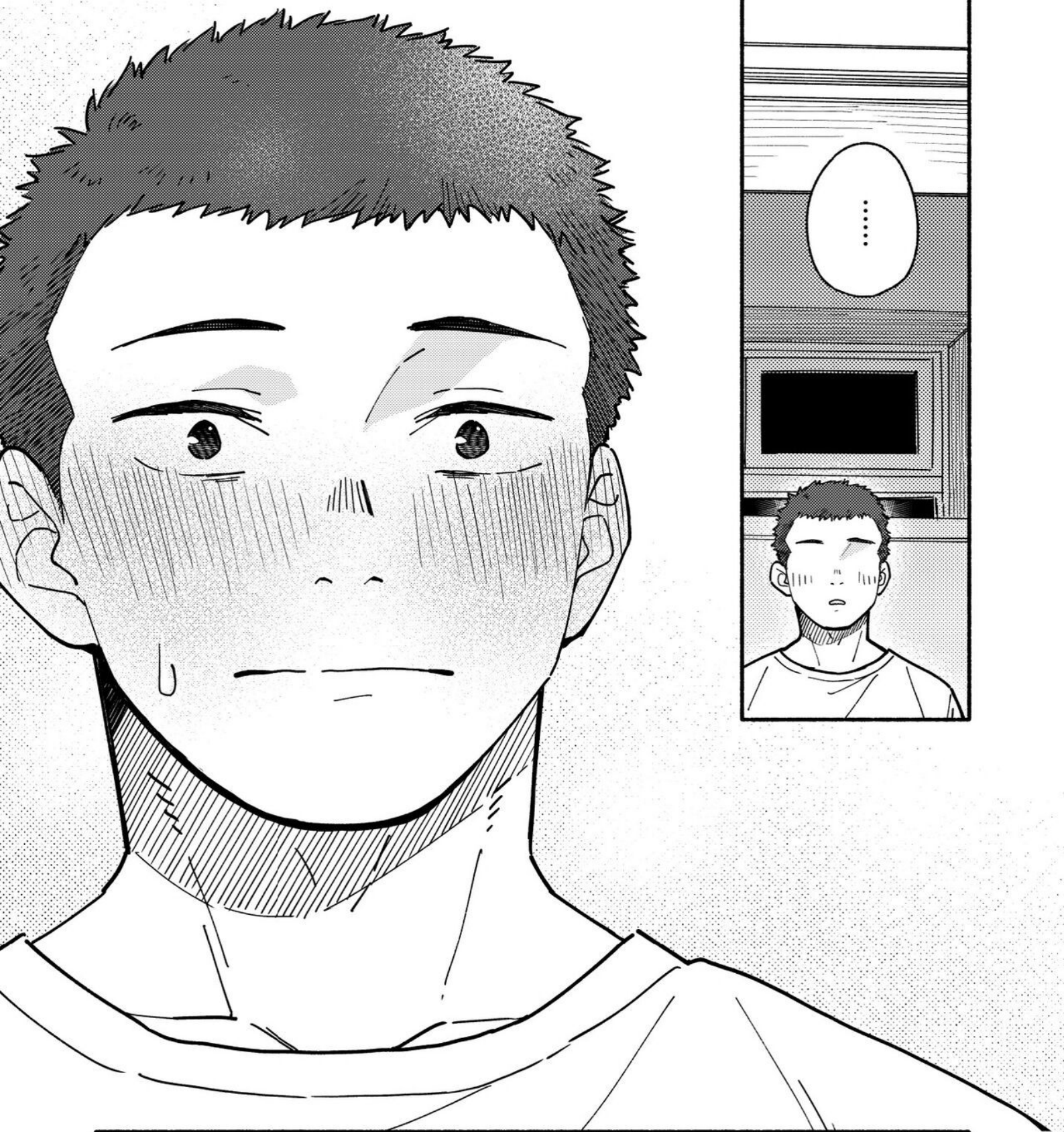






……じゃあ

また



- あとがき

自分は曖昧なものや保留になってるものが結構苦手で、例えば人間関係においても、家族とか友達とか恋人とか仕事仲間とか赤の他人とか、自分の知ってる名前でカテゴライズしないと理解できないし、理解できないと気持ち悪いものだなと思っています。

でも中には、そういう既存の言葉のどれもの確な感じがしない関係性が時々あって。

あやふやな関係性というのは不思議なもので、他人の「これじゃないの？」という言葉にあっさり引っ張られて、これは友情かな、こっちは恋愛感情かな、と何となくいつの間にか既存の言葉にすっぽり収まってしまいます。こういう場合、収まったことで安定はするものの、劇的に変化してしまったな、という引っかかりが残り続けることがほとんどです。

自然な流れに委ねながら、どうなっていくのかをゆっくり楽しむつもりが、もう二度と外れることの出来ない意識のレールにさっさと乗ってしまったような。善し悪しの話ではないけれど、少し残念な気がしなくもないような。

不思議なほど興味が尽きない相手との関係性に付けるラベルは、可能な限り空欄にしておきたい。そこに入る言葉は、その相手との対話の中から見つけたい。この気持ちが至極当然のものなのか、途方もないほどに強欲なのか、今の私は分からずにいます。

2023年10月11日 黒豆麦茶

- 奥付

「じゃあ、また。」

2023年 10月 22日 初版発行

発行者/著者：黒豆麦茶
発行：麦茶房
印刷：丸正インキ有限会社 さま

- 著者

黒豆麦茶

☎ 3579161

🏠 <http://kuromugi-bler.blog.jp/>

✉ mugicha.lover@gmail.com

- 作品アンケートフォーム



- 上記メールアドレスまたはアンケートフォームへのご意見・ご感想をお待ちしております！

- 同性愛表現が含まれております為、読まれる際は周囲にご配慮ください。

- 18歳未満の方の目に触れないよう、充分ご配慮ください。

- 転載・転売は固く禁じます。著者に無断で転載・転売を行った場合、それによって得た利益及び当方規定の作品使用料を著者へ支払うことに同意したと看做します。良識の範囲内で作品をお楽しみください。

SEE YOU, じゃあ、また。 AGAIN.

